

PRESS RELEASE

2024 年 7 月 24 日

株式会社ソーシャル・ネットワーク

長野県初、対話型 AI キャラクターがシニア向け介護施設入居者の話し相手に！

県内 7 つの施設で 6 月から実証実験を開始

株式会社ソーシャル・ネットワーク(代表取締役:対馬純一、本社:長野県塩尻市)は、運営するシニア向け介護施設に対話型 AI キャラクターを導入する長野県初*の実証実験を 6 月から開始しました。本プロジェクトは対話型 AI キャラクターを活用し、介護分野における深刻な「2025 年問題」「2035 年問題」を解決することを目指しています。実証実験は茅野市、諏訪市、塩尻市、松本市、安曇野市に所在する 7 施設で実施しています。*当社調べ



AI キャラクターと会話する入居者

■実証実験の目的:介護現場への AI 活用の可能性を探る

介護業界は急速な高齢化による「2025 年問題」と、人口の 3 割以上が高齢者となる「2035 年問題」に直面し、さらなる人材不足が進み、十分な介護サービスの提供が難しくなることが予測されます。本実証実験では、対話型 AI キャラクターが将来的に介護サービスの維持に貢献できるかどうかを探ります。その第一歩として、入居者の話し相手として対話型 AI キャラクターを導入し、被介護者、介護スタッフ、施設運営者の以下の課題解決を目指します。

- ◇ **被介護者** : 対話機会の増加による認知機能の改善と健康促進
- ◇ **介護スタッフ** : 業務負担の軽減による労働環境の改善
- ◇ **施設運営者** : 人手不足によるサービス低下の解消

■対話型 AI キャラクターの特徴:高齢者に寄り添う存在として

対話型 AI キャラクター開発は、東京のイノベーションファームである migak LLC が担当しています。今回の実証実験では、女性キャラクターを開発し、長野県に関する情報など、会話を楽しむための情報をインプットしています。AI 技術により、入居者との自然な会話を実現し、親しみやすい見た目と合わせて、高齢者に寄り添う存在として活躍できるよう設計されています。

<対話型 AI キャラクターと入居者の会話の一例>

キャラクター「こんばんは！元気ですか？」

入居者「みんな元気があって、みんなが元気です」

キャラクター「それは素晴らしい！何か最近、楽しかったことがありましたか？」

入居者「〇〇さんが毎晩、食後に歌を歌ってくれます」

キャラクター「それはとても素敵ですね！地元の文化に触れられて、リラックスできる時間も過ぎて良いですね。」

■今後の展望:介護現場の課題解決を多方面からサポート

今後は、センサーや入居者の個人データとの連携も視野に入れ、個々に合わせた会話を成立させることで会話の質の向上を図ります。また、見守り機能やレクリエーションへの活用も検討し、真に介護現場で活躍できる対話型 AI キャラクターを確立し、介護業界の課題解決に貢献することを目指します。

ソーシャル・ネットワークは 2006 年よりシニア向け介護施設の運営を開始しました。介護施設が住みやすく、働きやすい場所になることを目指し、積極的に先進テクノロジーの活用に取り組んでいます。2023 年には見守りロボットを導入しました。

<対馬純一社長のコメント>

私たちの施設では、常に最先端の技術を取り入れ、利用者の皆様に最高のケアを提供することを目指しています。今回の対話型 AI キャラクターの実証実験は、その一環として非常に重要なステップです。この技術が利用者の皆様と介護スタッフの双方に大きな効果をもたらすことを期待しています。このような先進的な取り組みを通じて、介護業界全体の課題解決に貢献できることを心から願っています。

<長野大学大学院総合福祉学研究科研究科長 中村英三教授のコメント>

人材不足を補うために AI やロボットの活躍が求められています。認知症や高齢者、障がい者を含む多くの方に対話型 AI キャラクターは効果的であり、この先進的な取り組みが介護業界の課題解決に繋がることを願っています。学生たちも非常に興味を持っていました。彼らは将来順応し、新たな可能性を開いていくことを期待しています。

■本プロジェクトに関するお問い合わせ先

【実施施設】

株式会社ソーシャル・ネットワーク

ホームページ : <https://socialnetwork.co.jp/>

【対話型 AI キャラクター開発】

migak LLC

メール : info@migak.jp

【取材申し込み】

株式会社ウィズコミュニケーションズ

電話 : 03-3760-2330(会社代表番号) 080-5440-1753(担当:小林)